



第43回 毎日こどもピアノコンクール 札幌地区予選 幼児の部



審査員講評

やまさき み か
山崎美嘉先生 (当番審査員)

○ごしゅつじょうのみなさんへ

コンクールにごしゅつじょう、おめでとうございます。たくさんれんしゅうをして、おかあさんやおとうさんとはなれて、ひとりでおおきなステージでピアノをひいて、とてもえらかったですね。みなさんがとつてもじょうずで、しんさいんのせんせいたちはすごくおどろきました。そして、これからがとつてもたのしみになりました。ピアノのきょくはすてきなきょくがたくさんありますよ。いろんなきょくをひいてくださいね。もっとピアノがすきになるとおもいます。またみなさんのえんそうがききたいです。これからもがんばってね！

○幼児の部を楽しく聴かせていただきました。

皆さんの演奏の素晴らしさと立派なステージマナーに、審査員一同とても驚き感動いたしました。本人の努力はもちろん、ご指導なさった先生方と支えてくださったご家族の皆さまの愛情と熱意の賜物と存じます。当日は足台設置を保護者ではなく主催者側がすることで、客席でゆっくりと演奏を聴くことができる反面、ご心配も大きかったのではないのでしょうか。しかし、出場者達はたった一人で大きなステージで見事に演奏なさいました。結果に関わらず、かけがえのない経験となったはずですよ。この日のために熱心に練習し、どなたも欠席することなく元気にステージに立てましたことを、心よりお祝い申し上げます。

この部門にご出場の皆さんはピアノ歴が様々です。まだ始めたばかりの方もいれば、コンクール出場が2度目の方もいるでしょう。体格差も大きいですから、当然選曲の難易度はまちまちで、審査に大変苦労いたしました。難曲を弾きこなしている、余裕のある選曲をしてのびのびと楽しく弾いている、短い曲でも心をこめて丁寧に表現しているなど、それぞれが魅力的で本当に悩みました。どうぞ今回の審査結果に一喜一憂されませぬようお願いいたします。これからも、焦って無理をせずに（特に技術的に）成長に合わせて、子ども自身が共感できる曲を楽しみながらお勉強してください。

私達指導者は基本的なフレーズ感、リズム感、ハーモニー感を養うことを心がけつつ、あまり窮屈にならずに子どもの自由な発想や表現も大切にしたいものです。そして、完成度を高く仕上げられる手の内に収まる曲と、少し背伸びをした曲を(ジャンプしても届かない難曲ではなく)バランスよく勉強することをお勧めいたします。

また、良質な音楽を、日常の中で自然に耳にする環境がよい耳と音楽性を育てると思いますので、保護者の皆様にはご家庭での環境づくりを心がけていただきたいと思います。健康的な生活をして、音楽以外の経験も沢山できるとよいですね。

幼児の部の喜びに満ちた温かな会場の雰囲気に触れ、本来の音楽のあるべき姿を思い出すことができました。素晴らしい演奏をありがとうございました。来年も是非聴かせてください。

幼児の部

並びは演奏順です

第43回 毎日こどもピアノコンクール
札幌地区予選



吉田華音子

舟根夢莉

小林里菜

郷友之丞

佐藤心律

小島美怜

長沼佑弦

榊原なつ

東島里歩

佐々木乙羽



佐久間奏

高橋咲幸

美馬奈々葉

座間乙葉

塩野谷直翔

大西沙英



丸尾奏爾

猪又彩睦

宮前幸采

岩本蒼一郎

浦伊緒理